

特集

【増大号】実習指導 虎の巻

第1部 実習指導で大切なこと

【座談会】これからの実習指導で必要なこと

池西静江／任和子／水方智子／岡山寧子

実習指導はおもしろい! 大池美也子

実習指導記録のススメ 山口みのり

第2部 ここが知りたい実習指導

看護師の役割と教える役割をどう両立するか 奥裕美

アセスメントがなかなかできない 樋口明里

「教材化」のコツとは 高橋聖子

他

第3部 実習施設との協働に向けて

協働するといわれてもどうすればいい? 森三希子

学習計画を病棟側にわかりやすく伝えるには

島田伊津子／中村加奈子

技術をどう伝えてほしいか 岩崎詩子

他

第4部 実習指導の理解をさらに深める書籍

看護を教える人のための経験型実習教育ワークブック 安酸史子

看護教育のためのパフォーマンス評価 糸賀暢子

実習指導を通して伝える看護 吉田みつ子

他連載

編集後記

●「問うのは教員、答えるのは学生」という昔ながらの教育観に則った形式は、上の者(教員)が下の者(学生)を管理するのにとても便利です。下の者を常に受け身にしておけば、下から疑問はわいてこないからです。時間をかけてこの形式にしなければ、従順な人が出来上がります。

●「問いづくり」のような方法で学生が主体的に学ぶようになると、従来の形式での管理は困難になります。学生は自分に問うのと同時に、教員にも問うようになるからです。これはもちろん悪いことではありません。「問い」とおして、教員も学生ともに学ぶという姿勢で取り組み、双方の主体性が育まれるはずです。「問いづくり」の姿勢は、佐藤先生が言われるように、一生使えるもの。日常的にもどんどん「問い」を立てていきましょう。

……大野

●先日、ある大学院生に紹介していただいて、看護について多様なジャンルの研究者の方と話す会に参加しました。雰囲気の良いレコード屋さんで、お酒を飲みながらゆるゆるとプレゼンを聞いて意見や感想を話し合う、和やかながら熱意と好奇心に満ちていました。若い看護師さんたちの、まったく看護を知らない方々に向かって、自分の専門を情熱的に話す姿、とてもカッコ良かったです。●編集という立場も、良い意味でお話を伺える外部となればと思っていますし、さまざまな媒体で、内と外をつないでいく仕事ができそうです。これからもどうぞよろしくお願いします。……番匠

◎編集室ツイッター
http://twitter.com/KANGOKYOIKU

看護教育 第59巻 第7号 2018年7月25日発行(毎月1回25日発行)

Published by IGAKU-SHOIN Ltd. 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2018, Printed in Japan

(1部) 定価: 本体1,500円+税

2018年・年間購読料(増大号を含む12冊): 冊子版15,540円, 冊子+電子版/個人18,540円, 電子版/個人15,540円(いずれも+税, 送料弊社負担)

発行: 株式会社医学書院 代表者: 金原 俊 〒113-8719 東京都文京区本郷1-28-23 販売部 TEL: 03-3817-5659

『看護教育』編集室 TEL: 03-3817-5776 メールアドレス: kankyou@igaku-shoin.co.jp 担当: 番匠・大野・南部

本誌に掲載された著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・貸与権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は株式会社医学書院が保有します。本誌を無断で複製する行為(複写, スキャン, デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学, 病院, 診療所, 企業などにおいて, 業務上使用する目的(診療, 研究活動を含む)で上記の行為を行うことは, その使用範囲が内部的であっても, 私的使用には該当せず, 違法です。また私的使用に該当する場合であっても, 代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。

JCOPY 出版者著作権管理機構 委託出版物)

本誌の無断複製は著作権法上での例外を除き禁じられています。複製される場合は, そのつど事前に, 出版者著作権管理機構(電話03-3513-6969, FAX03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。0047-1895/18/紙: ¥500/電子: ¥750/論文/JCOPYが本誌の頁表記に並んで記されているのは, 1論文1回複製につき紙は500円, 電子版は750円を要することを明示したものです。表示のない論文などにも適用されます。JCOPY宛にご連絡いただく際には, 筆頭著者名と併せて本表示をご提供くださるようお願いいたします。

『看護教育』は, 株式会社医学書院の登録商標です。

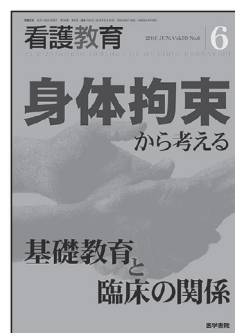
Vol.59 No.6

2018 年 6 月
特集

身体拘束から考える 基礎教育と臨床の関係

基礎教育と臨床教育のギャップは、看護教育において長く議論のテーマとされてきました。臨床では、学校で習ったことは通用しない。現場での新人は何もできない、というイメージが形成されている場合すらあります。学校でいくらケアの理念や看護の基本を習ったとしても、就職後は、現場の慣習、仕事の仕方を身につけることが優先される、という関係です。今、基礎教育と臨床のそのような大きな溝を象徴しているのが、身体拘束ではないでしょうか。身体拘束はケアの理念に反するために、基礎教育で学ぶべき内容とは位置づけられていません。一方、臨床現場においては、多くの病院で身体拘束を最小限にしようとする努力がなされながらも、それぞれの領域の特性、また病院の慣習に従って、まだまだ拘束がなされている現状があります。この現状の違いは、身体拘束を「教わっていない」学生や新人看護師にとっては、リアリティショックの大きな要因とも言われています。しかし、看護師は学生時代からつながって、看護師になります。看護学生は未来の看護をつくる存在であり、学校で身につける看護への思い、問いは、広く臨床現場全体を変えていくための契機であり、教員にもまた、慣習で行われるケアを問い直す役割があるはずです。そしてそうでなければ、現場は何も変わらないでしょう。身体拘束という基礎教育と臨床の分断を切り口に、看護、看護教育の問題点を問い直すきっかけになることを願います。

- 【インタビュー】拘束という慣習を乗り越えるために 酒井郁子先生に聞く
- 看護師の変遷する拘束像——学生から新人看護師、指導的立場へ……中野真理子
- 【座談会】看護学生にとっての身体拘束——現実、葛藤、希望……石島健資／沖 夏穂／鈴木千晴／猪熊七海／勝間田 麻夏／松本ちなみ／芦田 薫／中野真理子
- 身体拘束減少につながる精神看護学の教育とは——都立松沢病院での実習をとらえて……廣川聖子
- 学生・教員・病院看護部の協働による Hospital Elder Life Program in St. Luke's (HELP in SL) の取り組み——「人が足りないから拘束する」への問いかけ……亀井智子



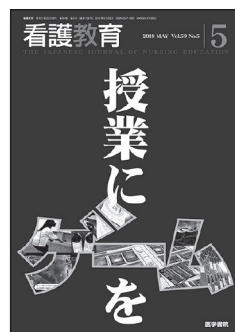
Vol.59 No.5

2018 年 5 月
特集

授業にゲームを

これまでは、「授業にゲームを取り込む」というと、「そんなことでは学力がつかない」という批判が必ず出てきました。しかし、本当にそうでしょうか。ゲームは、「ゴール、ルール、フィードバックシステム、自発的な参加」という 4 つの要素で特徴づけられます。お気づきだと思いますが、この 4 つは授業でも必ず求められるものです。授業とゲームの違いがあるとすれば、今までの授業は「自発的な参加」ではなく「強制的な参加」が主であったことぐらいでしょう。学生の主体的な学びを重視するのであれば、ゲームの考え方を授業に応用するのが近道です。ですから、まずは授業のなかでゲーム性の活かせる部分に取り入れていくことから始めてはいいでしょうか。学生の学びの活発化は、きっと他の部分にも良い影響を与えるはずです。今回は、教育とゲームの関係を整理したうえで、授業へのさまざまなゲームの取り入れ方を紹介します。ゲームを取り入れることで、「こうでなくてはならない」という考えから自らを解放し、学生だけでなく教員自身も「自発的に」取り組める看護の授業の工夫にチャレンジしてみてください。

- 教員よ、ゲーム・デザイナーたれ！——看護教育におけるゲーミフィケーション導入のすすめ……藤川大祐
- シミュレーションをゲームとして考える——子育てバーチャル体験教育システムを例として……太田浩子
- HUG で考える災害現場での医療者としての対応……牧野典子
- 認知症予防ゲームづくりで学生が得られること……庄藤智恵美
- IPEG とビブリオバトルを用いた多職種連携のための初年次教育……廣瀬清英
- 教育に役立つ「シリアス」ゲームとは何か？……福山佑樹



【2018 年 4 月号 (Vol.59 No.4)】

問題解決志向に疲れたら……

【2018 年 3 月号 (Vol.59 No.3)】

私たちのストレスケア

【2018 年 2 月号 (Vol.59 No.2)】

VR で未来を変える

【2018 年 1 月号 (Vol.59 No.1)】

インストラクショナル
デザインを活かす

【2017 年 12 月号 (Vol.58 No.12)】

省察的実践者を育む
シヨーンからの提起とともに

【2017 年 11 月号 (Vol.58 No.11)】

ティーチング・ポートフォリオ
で得られること

バックナンバーのご注文・在庫照会について

- 2016 年 5 月号 (Vol. 57, No. 5) 以前の号は、東亜ブック (TEL.03-5947-4781, FAX 03-3923-4539, <http://www.toabook.com/>)
- 2016 年 6 月号 (Vol. 57, No. 6) 以降の号は、医学書院販売部 (TEL.03-3817-5659) にお願います。